

雪氷写真館④⑧ 中越地震後の 2005 豪雪による雪崩／Innumerable avalanches due to the 2005 Heavy Snowfall after the Chuetsu Earthquake

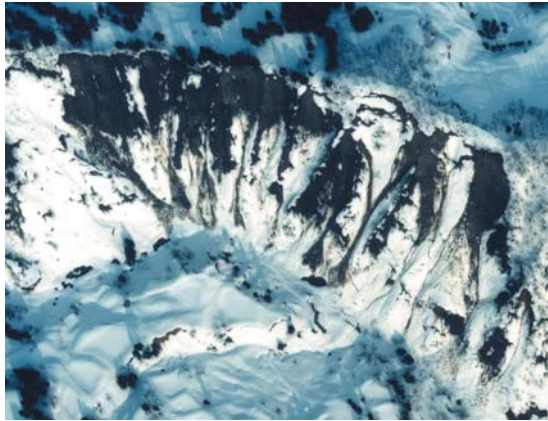


写真 1 中越地震で被災した山地の航空写真 (2005 年 3 月 24 日撮影)。旧山古志村竹沢地区の西向き斜面。このようないくつもの雪崩が連なる斜面がいたるところで見られた。



写真 2 長岡市濁沢町太田地区で起きた全層雪崩 (拡大した航空写真, 2005 年 3 月 24 日撮影)。同斜面では 2 月に表層雪崩も発生し, 建造物に被害を与えた。



写真 3 斜面, 雪崩防止柵が地震で傷み, そこに豪雪が加わり, いたるところで小規模雪崩が発生 (長岡市蓬平町, 2005 年 2 月 24 日撮影)。



写真 4 道路除雪は行われているが豪雪による斜面からの雪崩の危険は絶えない（長岡市竹之高地町，2005 年 2 月 24 日撮影）。



写真 5 十日町と旧堀之内町を結ぶ国道 252 号線を塞いだ全層雪崩（町田敬氏撮影，2005 年 2 月 18 日撮影）。

中越地震後の 2005 豪雪による雪崩

2004 年 10 月 23 日に起こった新潟県中越地震は魚沼丘陵の山間地を最も激しく襲い，多数の地滑り，斜面崩壊を引き起こした．山地斜面の多くが裸地表面となり，また雪崩防止柵の多くが被災してその機能が低下あるいは喪失した．

直後にやってきた冬は 2005 豪雪と呼ばれる 19 年ぶりの豪雪となり，地震被災地の山間地を中心に 3m から 4m もの積雪をもたらした．恐れていた雪崩が多発し，近年見られなかった多数の雪崩災害を起こした．2005 年 3 月 24 日に被災地を撮影した航空写真から 2140 箇所の全層雪崩が確認された．写真 1，2 はその一部で，全層雪崩発生の多かったことが見られる．

佐藤篤司 会員（防災科学技術研究所 長岡雪氷防災研究所）